

編 集 後 記

今までは読んで、見て楽しむ側だった歯学部ニュースの編集を担当し、各部署の方にご協力いただき何とか発行にこぎつけました。多大なアドバイス、お力添えをいただいた広報委員会 大島勇人教授に感謝いたします。

日頃、研修医の指導に取り組んでいると近視眼的になりがちですが、今回の編集を通して新潟大学歯学部には多様な考えの人たちが集まっていることを再度認識しました。

本号の2つの特集は非常に充実した記事になりました。それに加えて、個人的には学会レポートの部分が気に入っています。学部生、大学院生、教員の研究活動の一端が伝わればいいなと思います。
(中島)

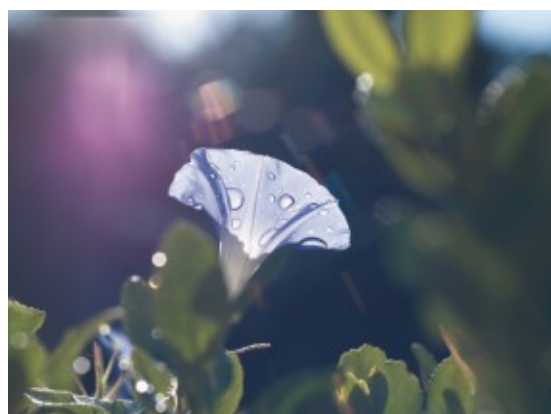
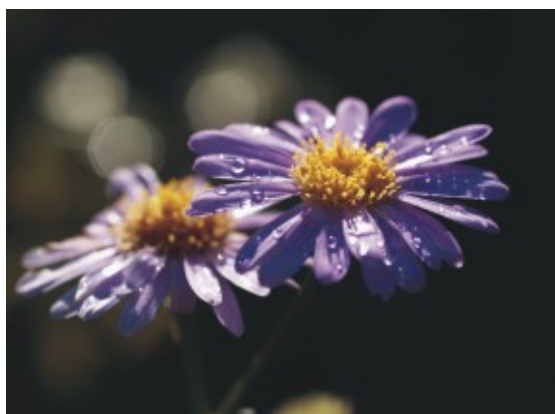
今回、初めて歯学部ニュースの編集員となりました。他大学出身の私にとって、歯学部ニュースは、大切な情報源でいつも楽しみにしておりました。そんな私が今度は編集の立場となり、改めて編集委員の皆様の大変さを知りました。お忙しい中、原稿を執筆くださった先生方には心からお礼申し上げます。また、大島先生や中島先生にまかせっきりで、本当に申し訳なく思っております。次号から、きっと歯学部ニュースを読む眼が変わってくるのではないかと考えている次第です。
(伊藤)

今回初めて歯学部ニュースの編集委員を担当しました。原稿執筆依頼をお引き受け下さった先生方は大変だったので、何のトラブルもなく、無事に役目を果たすことができ、快くお引き受け頂いた先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。(小山)

はじめて編集を担当させて頂きました。この度、原稿をお願いした先生方にはお忙しい中、原稿依頼を快くお引き受け頂き、大変感謝しております。ありがとうございました。

また右も左も分からない状態でしたので、大島勇人教授をはじめ、中島貴子先生、他多くの編集員の方々にご迷惑をお掛け致しました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

今回を機に編集員の仕事が非常に大切であることを実感致しました。貴重な経験をさせて頂き、ご協力くださった方々に感謝致します。ありがとうございました。
(安島)



歯学部ニュース

平成18年度第1号（通算109号）

発行者 新潟大学歯学部広報委員会
編集責任者 中島貴子
編集委員 鈴木誠、伊藤加代子、小山純市、安島久雄
印刷所 ㈱プライムステーション